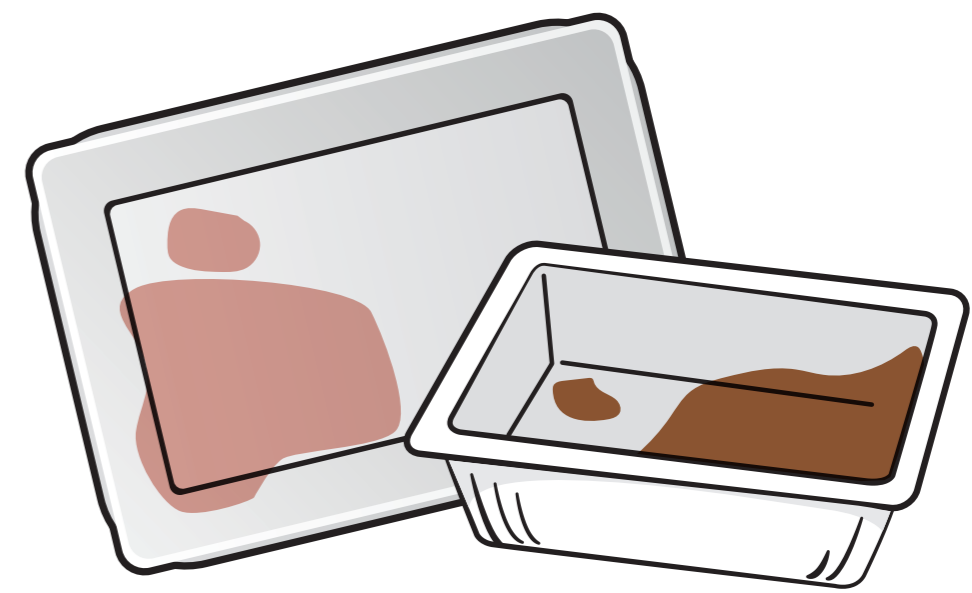


プラスチックごみの出し方

1 中身を使い切る（残さず食べる）

汚れていないものは、そのままプラスチックごみ指定収集袋へ。



Q フタに付いている値札などのシールははがした方がいいの？

A 無理にはがすことはありませんが、簡単にはがせるものは、はがしてください。

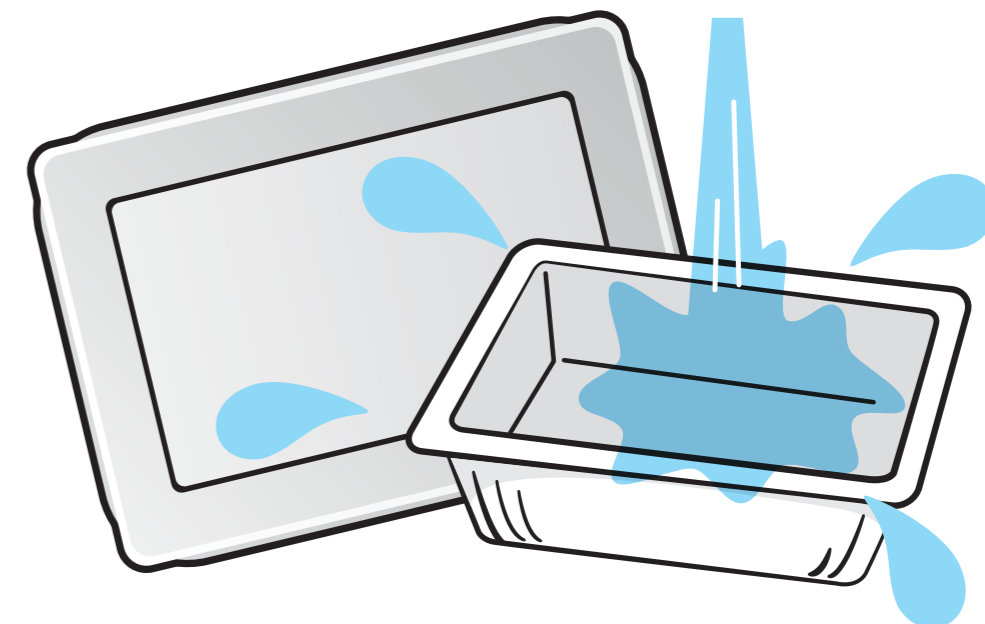
Q お菓子などの、裏が銀色の袋はプラスチックごみに出しているの？

A 銀色のものでも、袋にプラマークがついていれば、プラスチックごみに出してください。



2 汚れを取り除く

軽くすすぐなどして汚れを取り除く。どうしても汚れが取り除けないものは、「燃える・燃えないごみ」で出してください。



Q なぜ汚れたものを入れてはいけないの？

A 汚れたものを入れると、汚れが広がり、他のプラスチックごみもリサイクルできなくなります。



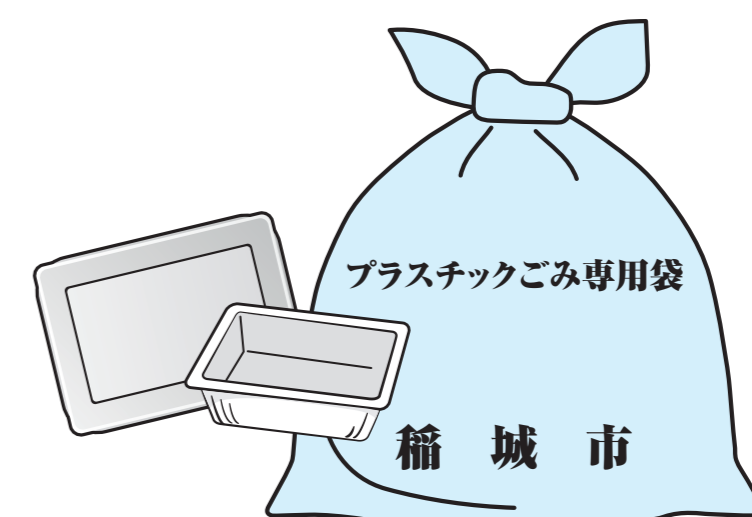
Q 汚れはどのように取り除けばいいの？

A 中身を使い切り、軽くすすぐか、拭き取ってください。お菓子の袋などは、逆さにしてはたかなどして食べカスが残っていない状態にしてください。



3 プラスチックごみ指定収集袋に入れる

再資源化のための選別処理の妨げになるため、袋は二重にしないでください。



! 一辺の長さが50cm以上のものは「粗大ごみ」で出してください。

ポイント

- 潰したり、切ったりしてから指定収集袋に入れて出すことで、袋のかさを減らすことができます。
- 「発泡スチロール・トレイ」は、かさ張るため、公共施設での拠点回収やスーパーなどでの店頭回収についても引き続きご利用いただけます。